

木の家づくりを通じて暮らしを提案する

KoKola**b**.

隔月刊ココラボ通信

NO. **99**

2022.October

完成現場報告 焼津市 / 『ヒナタの家』

ひとつ屋根の下、 居心地のいい平家の住まい



ひとつ屋根の下、 居心地のいい平家の住まい

完成現場報告

焼津市／『ヒナタの家』

文・写真／ココロポ 山崎健治



広間から中庭を望む。Tさんのお宅はコの字型で中庭を囲んだプラン、広間や和室、寝室など、家のどこからも中庭が眺められ、開放的に暮らすことが出来る。

2018年の初夏に完成したTさんのお宅は、焼津市の区画整理地内に建築されました。完成当初はまだ周辺土地に空き地がありました。完成当初は段々と家が建ち並び、現在は立派な住宅地となっています。区画整理と聞いてピンと来ない方もいると思いますが、土地区画整理法によって公共施設や宅地の利用の増進を図るために行われる事業です。今までの道や宅地などの区画がガラッと変わり、広い道路をつくりたり公園を整備したりしながら、住みやすい宅地を新たに作り出します。元々土地を所有していた方は代替地として新しい土地に移り、田んぼや畑だった土地は宅地として生まれ変わります。また、整備する中で保留地と呼ばれる新しい宅地もつくられるため、土地を購入して新しく暮らし始める方も多い地域になります。

Tさんも家づくりを考える中で土地選びを行い、明るく整備された区画整理地内の土地を購入しました。道も広く周辺環境も良い場所で、暮らしていくにはとても利便性の高い土地でした。Tさんの選んだ土地は北側道路に面したやや長方形の形で広さも十分、自由な計画が出来る良い土地でしたが問題が一つありました。それは、今後隣接する土地にどんな家が建つのか？という悩みでした。設計当初は東南に位置するお宅が一軒あり、隣接する3方の土地はまだ更地のままでした。両隣や南側に接するお宅にどんな家が建つのか？ 大きさや窓の配置、日当たりについても不安がありました。土地選びの際、地域や広さ、道路の位置付けなど気になるポイントは様々ありますが、お隣にどんな家が建っているのか？ どんな方が住んでいるのか？ 気になりますよね。家の計画に関しても窓の配置や建物の影などを考慮して設計し、お互いのプライバシーを考慮した計画を心掛けています。隣の敷地が空地だった場合は、今後の計画を予測して設計していきませんが、今回のケースは隣接する3方全てが更地でまだどんな方が住むのかさえわからない状況の中での計画でした。Tさんご夫婦とも話し合いを行い、間取りの希望などを伺いながら、まずは私の考えるプランを提案しました。



広間の窓から中庭の植栽を眺める。ソファに腰掛け中庭を向くと、ちょうど窓枠に収まったヤマモミジが見える。風に揺れ、小鳥や蝶などが訪れる様子は見ているだけで楽しい。

中庭全景。シンボルツリーにヤマモミジを植え、常緑樹を織り交ぜながら豊かな緑の空間をつくった。石畳のテラスや景石などで趣のある中庭になった。



道路から建物を見る。アプローチの主木にジュンベリーを植え、坪庭に背の高いアオダモを植えた。植栽は訪れる方を楽しませ、季節の変化を感じさせてくれる。

完成後をイメージして プランを提案

プランを作成する場合、敷地の条件半分、住まい手の希望半分と想って組み立てています。光の当たる方向や風の通り道、隣家や道路からの視線など、敷地から受ける影響は様々あります。敷地条件に逆らったプランは無理や無駄が多く、いくら希望を叶えるプランが出来たとしても住みやすい家になるとは限りません。また、住まいの大切な要素として、開放的に暮らすことの出来るプランを心掛けています。大きな窓を設けて庭と一体となった暮らし、日中は窓のスクリーンを開けて過ごせる工夫など、室内だけでなく、屋外スペースも大切な生活空間としてプランに加えて設計しています。今回のケースでは、敷地の条件がまだはつきりと決まらないタイミングでの計画ということで、様々なケースを想定して考えていく必要があります。色々なプランが頭の中に浮かびましたがどれも想像のシチュエーション、間取りを決定する要素にはなりませんでした。そんな中、以前3方を住宅に囲まれた敷地での計画を思い出しました。今回と同じ北側道路で敷地形状も似ていました。道路以外のスペースは住宅が建っていたため、光や風、プライバシーの確保として中庭を囲ったプランをつくりました。完成後お伺いした時に、家の中にい

ると隣の家が気にならず、中庭から光や風も感じられてとても暮らしやすいと話してくれました。この経験を生かして、隣にどのような家が建つてもなるべく気にならないプランを提案しようと思い、コの字型のプランを提案しました。広間にはハイサイド窓を設けて、光を部屋の奥まで行き渡らせて明るく開放的な空間をつくり、大きな窓の外には樹々を植えた中庭を提案しました。中庭の先に見える景色も自らの家の一部ということで、とても安心感のある空間をつくる事が出来ると感じました。少し変わったプランということで初めは驚いたと思いますが、このプランなら今後隣にどんな家が建つても影響は少なく、光も風も感じられる住まいが出来そうだという事で気に入っていた頂き、プランが決定しました。Tさんの家の建築中に東隣の家が建築され、完成してすぐに南の敷地にも家が建ちました。最近では西隣の敷地にアパートが建築され、あつという間に3方が建物で囲まれた敷地となりましたが、コの字型の中庭プランのおかげで影響は少なく、明るく心地よい暮らしが出来ていると話してくれました。私ももちろんよくお伺いしますが、周辺の建物が気にならない静かで落ち着く空間になっていると感じ、思い切った提案して良かったと思いました。



書斎スペースから中庭を望む。中庭を通り抜けて広間が見える。少し離れた場所からも家族を感じられ、心休まるひとときを送ることが出来る。

広間の一角に設けたソファコーナー。コンパクトなスペースだが、居心地が良く落ち着く空間。坪庭の植栽が清々しく感じられ、風が通り抜けていく。



小上がりの畳コーナー。L型の障子で仕切ることが出来、寝室にも利用できるスペース。市松模様に見える目積畳も広間空間のポイントになっている。



ワンルームの中に 個別のコーナーをつくる。

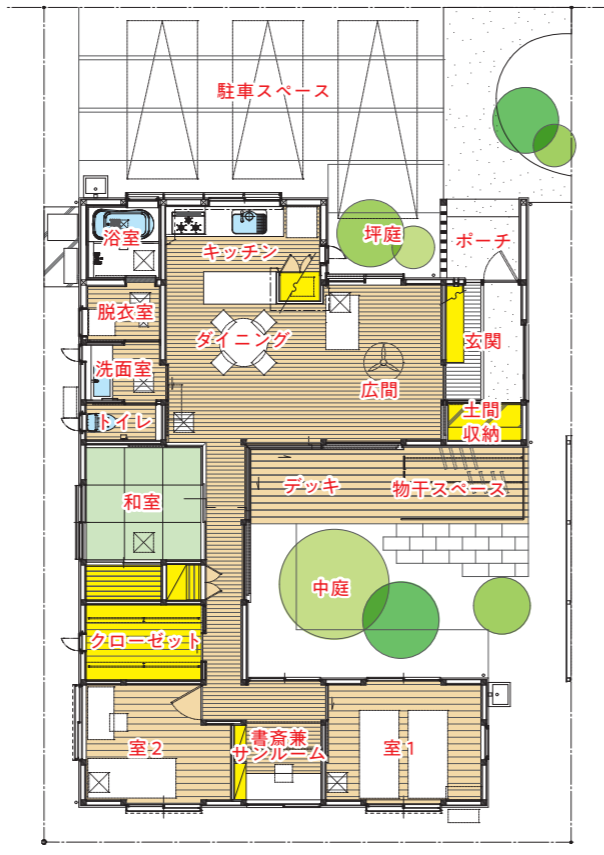
コの字型でつくられたTさんのお宅ですが、コンパクトな平家の中に居心地の良いコーナーをつくりました。ひと昔前のリビングと言えば、テレビを中心に置いて大きなソファで家族団欒がイメージ。でも実際は、お父さんがテレビを見ていると子供は自分の部屋に行き、子供がテレビを見ているとお父さんは寝室に移動。見たいテレビ番組が違うのだから当然の結果になる訳ですが、一番の要因はテレビを主役にしたリビング配置だと思います。広いリビングをつくっても、そこがひとつの用途しか使えない空間では家族それぞれが満足出来るスペースをつくる事は出来ません。以前は家の娯楽がテレビしか無かったので仕方なくお父さんのテレビに付き合っていた子供たちも、現代はスマホやタブレット、ゲームなど、色々な楽しみが手元にあるので、どんどん自分の世界に入っていきます。良いか悪いかはそれぞれの家庭での判断だと思いますが、もう少しリビングのあり方を考えてみる必要があると思います。Tさんのお宅では、テレビのあるソファ空間、ダイニングテーブルのある団欒空間、小上がりの畳空間に分かれたリビングをつくりました。それぞれのスペースはコンパクトですが、全体を見通すと広く感じ、家族が

好きなスペースで自分の時間を過ごす事が出来ます。また、廊下との間に扉を設けていないので、少し離れた書斎スペースにいても姿が見え、家族の気配が感じられる空間になっていると思います。ワンルームにつながった間取りは冷暖房においても適していると感じます。ある程度の断熱性能が基本ですが、家のどこにいても温度差を感じず、心地よく過ごす事が出来ます。また、温度差の無い暮らしは身体のバリアフリーとも言われ、急激な温度変化による危険も低くなります。

Tさんのお宅は、中庭を介してリビング空間と寝室や書斎空間が分かれています。少し離れた空間にいても、中庭越しにそれぞれの空間を感じる事が出来るのも今回のプランの良い所だと思えます。家族の姿が見え、お互いを感じながらひとつの屋根の下で暮らす。当たり前の様で意外と出来ない暮らし方では無いでしょうか？ 2階の子供室に入ってしまうと何をしているのかわからないとか、お父さんは書斎にこもりつつ放し。ひとつ屋根の下に居るのにお互い一人ずつではやっぱり寂しい気持ちになります。家づくりをきっかけにして、もう一度家族の団欒空間について考えてみてはいかがでしょうか。



広間全景を見る。ソファコーナーやダイニングコーナー、キッチンの配置がよくわかる。広間の中心に設けた板張りの壁、キッチン側は収納になっているが、広間側はシンボリックな存在となっている。ブラケット照明の配線も仕込んであり、今後の楽しみにもなっている。



1F 敷地平面図

仕様内容

家族構成	家族3人
敷地面積	227.74㎡
建築面積	103.82㎡
延べ床面積	91.09㎡
構法	在来構法
屋根	ガルバリウム鋼板縦ハゼ葺き
外壁	ガルバリウム鋼板角波タテ貼、マサ土掻き落し仕上げ
外部建具	木製オリジナル建具 ナラ、タモ（ペアガラス） アルミサッシ（ペアガラス）
天井仕上	杉本実張り 厚12mm 青森ヒバFJ本実板張り 厚15mm
壁	漆喰塗、青森ヒバFJ本実板張り、クロス貼り
床	栗実板・青森ヒバFJ本実板 厚15mm、杉本実板 厚30mm
内部建具	木製オリジナル建具
キッチン	ステンレスヘアライン天板オリジナルキッチン
洗面化粧台	オリジナル洗面化粧台
浴室	オリジナル浴室 (壁・天井：青森ヒバFJ、床：ハーフバス)
竣工	平成30年6月

ひとつひとつこだわりながら
制作した家具や素材

利便性を考えながらも、長く使えるシンプルなデザインを心掛けたTさんの住まい。ひとつひとつの家具や素材を吟味し、細部までこだわった。



玄関ポーチのポストは玄関収納の一部につながる仕組みで、室内から郵便物を取り出せる。



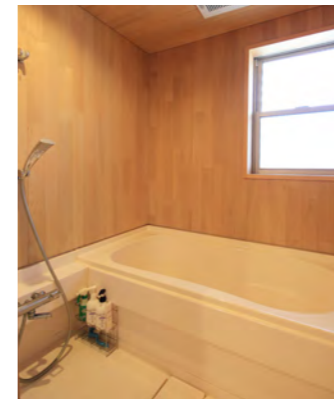
玄関スペースは縦長の土間になっている。土間の先は1帖の物入れをつくり、屋外で使うものなどが収納されている。



飾りスペースを兼用した玄関収納。フィンランドデザインをモチーフにしながら、シンプルかつ機能的に設計した。



トイレは引き戸で横から入るプラン。将来的にも使いやすく、長く無理の無い配置となっている。



ハーフユニットバスを利用した木の浴室。青森ヒバは4年経った現在も、とても綺麗。ヒバの香りに癒される。



脱衣室と別けて洗面室を設けた。大きな鏡と縦長の換気窓、W1200のカウンター式化粧台はココラボの定番。



大きな窓のあるキッチン。最近是对面式のプランが多いが、使いやすさを考え、窓向きのスタイルになっている。

家づくりのバランス

家づくりを考え始めた時、何を一番重要と考えますか？ 地震に強い家、暖かい家、コスト、広さ、自然素材など、人によって様々だと思います。ですが、実際に暮らしてみると、大切なのはそれらのバランスだという事に気がつきます。あれだけこだわったデザインなのに、生活の仕方とマッチしていないとか、性能はかりが気になって、暗くて窮屈な家になってしまったとか。今回のTさんの家づくりを振り返って、それぞれのバランスがとても大切だと改めて感じました。開放的な空間も大切、でも毎日の家事動線や収納も考えておく。照明や家具もこだわりたいけど、まずはシンボルになる所にお気に入りを設置し、あとは暮らしながら揃えていく。何かにこだわって何かを諦めるのではなく、優先順位をつけてバランス良く選んでいく事で、後悔のない家づくりになっていくと思えました。Tさんの暮らしも4年が過ぎ、今年の春に中庭とアプローチの植栽工事を行いました。草木が増えた事で、より一層豊かさが増し、居心地の良い住まいになってきたと思います。今後の成長を楽しみに、またお伺いしたいと思っています。

「コロラボ設置店」より...



私の好きな 愛い道具たち vol.4

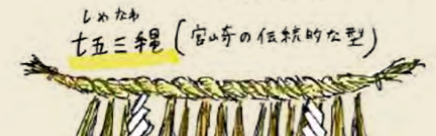


うつわ暮らしの道具テクラ
店主 宮入由起

静岡市葵区で仕事の商品を
みなさまにお届けするお店を営んでいます。主人と
2人の女の子4人暮らし。夢は家族しながら幸せな暮らし
を日記に出版すること。仕事も暮らしも染み込ませたい



みなさん、こんにちは！テクラの宮入由起です。
今回は少し年末を感じ始める時期におすめめの、
おら糸田たくぼさんの、おら糸田工をご紹介します。たくぼさんは約65年、山合川にある宮崎県日之影町で、
七五三糸をはじめ、糸走り物の飾り物のおら糸田工を
代表の甲斐陽一郎さんと、二家族、仲間たちと一緒に
作られています。日之影町は神話の里
高千穂郷にあり、一年中七五三糸を飾る
風習があります。たくぼさんではおら糸田に田舎感をし、全ての田舎人仕事、
糸走り、その後の糸の乾かすや、おらの選別（おら糸田工で選ぶ）、おら糸田工
作り、とにかく自然と共に多様なお仕事をしています。テクラでは



おら糸田工二品紹介
通年で店頭、オンラインで
ご紹介させていただきます。
お正月が終った後は
インテリアの飾り物として
長くお楽しみいただけます。
たくぼさんの
おら糸田工は、とにかく、
and more!! 美しく、おら糸田工、
丁寧に作られた、厚い生地で作られ、
届く度にその美しさにほっとします。みなさま、
新しい年を迎えるお供としていかがでしょうか。

右から左の数が7、5、3つとあり、神様の
方からみて、七五三となっています。祭数は
室の七かまは無いといわれています。また、
七五三の糸は、おら糸田工の神様に
奉納されています。この糸は毎年交換しています。



#自宅でテクラ
オンラインストアで
11月中旬より販売
予定です

うつわ
暮らしの道具
テクラ

Instagram @tekura_miyairi
@tekura2013yk(私)
@miyairiyuki(イラスト)

静岡市葵区大岩1丁目1-25
054-246-2856
OPEN: 13時~17時
CLOSE: 火・水 其他有

焼津市 島田市編

- M's café**
焼津市石津447A
instagram @mscafem
- HAND WORKS FACTORY**
焼津市大島994-10
☎: 080-5153-0650
- doma雑貨店**
焼津市大村2丁目10-13
☎: 054-620-5081
- 手造りハム工房 昭米**
島田市南1丁目5-32
☎: 0547-37-1186
- F M島田**
島田市中央町5-1
☎: 0547-34-1765
- ペビマン**
島田市栄町2-11
☎: 0547-34-4351
- はりきゆう治療室すずみ**
島田市東町1370-2
☎: 080-1604-0789
- チャールストン**
島田市東町833-2
☎: 0547-37-1213
- bakery labo**
静岡県島田市東町498-6
☎: 0547-37-1355
- 楓(TENO-HIRA)**
島田市中溝町2235-9
☎: 0547-35-6060
- 海産物処ふじ田**
島田市新田町5-24
☎: 0547-37-6671
- Mato „tools (マトツールズ)**
島田市稲荷2丁目8-8
☎: 090-2182-1408
- マスクングテープ専門店 ヨハク社**
島田市稲荷2-8-8
☎: 050-1352-9861
- 大井川葛布**
島田市金谷泉町5-1
☎: 0547-45-4151
- 自家焙煎珈琲50年 アルム珈琲店**
島田市菊川1182
☎: 0547-45-3280

静岡西部編

- コスモス珈琲**
牧之原市静波2263-6
☎: 0548-22-6685
- nimes ニーム**
菊川市堀之内1653
☎: 0537-35-2642
- スプーンいっぱいのおあわせ さじかげん**
袋井市豊沢2757
instagram @sajikagenjam
- お茶畑助産院**
袋井市豊沢2158-3
☎: 090-8457-5480
- 伝兵衛堂**
浜松市南区飯田町739-3
☎: 053-467-0751
- レッカーランド フクカワ**
浜松市中区西伊場53-5
☎: 053-451-3820



Facebook ページ [KoKolab.]
Instagram @kokolabnoie

KoKola**b**.

隔月刊 ココラボ通信 No.99

2022年10月発行

発行人 有限会社こころ木造建築研究所
代表 山崎健治

〒427-0011 静岡県島田市東町1047-2

TEL : 0547-54-4556

FAX : 0547-54-4557

http://www.kokolab.jp

E-mail : office@kokolab.jp

担当

山崎良江(「ココラボ通信設置店より…」担当)

編集 … Branch 村上幸枝

印刷所 … 松本印刷株式会社

※本誌記事の無断転用や
コピーを禁じます。



[購読を希望されます方へ]

当社ホームページのお問合せフォーム又はTEL、FAX、E-mailのいずれかでお申込み下さい。

年間購読料…1,200円 / 一冊定価…200円

(上記料金は発送費として頂いております。)

※当社、もしくは通信設置店では、無料配布しています。

会社概要

当社は、地域木材と職人の伝統技術を用いて木の家造りを行っている設計事務所です。隔月発行の『ココラボ通信』、また『こころばスクール』やイベントなどを通し、住宅や暮らしを取り巻く様々な情報を発信しております。

編集後記

9月の連休に『こころばの家@静岡』のオープンイベントを行いました。プレオープンイベントはココラボのOBさんや現在進行中の方に見ていただき、オープンイベントは初めての方に見ていただきました。OBさんは、ココラボの新しい仕上げや納まりに興味深々。進化しているねとコメントをいただき、初めて『こころばの家』を見た方は、木の匂いがすごい！とか、開放的で心地良さそうと話していました。『こころばの家@静岡』は展示場兼事務所になっています。家づくりの対応やメンテナンスもより充実させ、木の家の快適な暮らしをたくさんの方に提供していきたいと思ひます。

(山崎健治)



Information

🏠 完成見学会

静岡市『Bellの家』

◆ 日時：2022年12月下旬(土・日)
10:00～17:00

◆ 場所：静岡市
※予約制となっておりますので、当社までご連絡下さい。

🏠 完成見学会

藤枝市『たらの家』

◆ 日時：2023年1月下旬(土・日)
10:00～17:00

◆ 場所：藤枝市
※予約制となっておりますので、当社までご連絡下さい。

🏠 木の家相談会

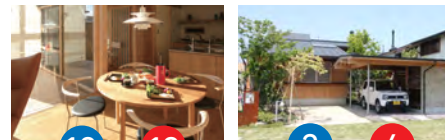
木の家の仕組み、予算など、何でもご相談ください。

◆ 日時：11月12・13日(土・日)
12月3・4日(土・日)
10:00～17:00(予約制)

◆ 場所：『こころばの家』

🏠 こころばの家オープン日

コロナウイルス対策として予約制で行います。ご希望の日時をご連絡ください。



11月 12(土) 13(日) 12月 3(土) 4(日)
10:00～16:00 10:00～16:00

11月からは、2つの『こころばの家』が見学できます

9月に新しい木の家展示場『こころばの家@静岡』が完成し、『こころばの家@島田』とあわせて2つの木の家展示場が出来ました。どちらもコンパクトな展示場ですが、暮らし方や家族構成によって家づくりの参考にさせていただけると思ひます。どちらも板倉構法を骨格とした木の家ですが、間取りや仕上げ、家具や設備についても違った提案となっています。毎月第一土曜日、日曜日(都合により変更あり。詳細はホームページをご確認ください。)に、“こころばの家オープン日”として木の家を見学いただける日を設けています。今後は、@静岡と@島田の2つの展示場を見ることが出来ますので、ご希望に合わせて是非ご見学いただきたいと思ひます。見学は事前予約制で行っています。ホームページの申し込みフォームよりご予約ください。

『こころばの家@静岡』

静岡市新川2丁目5-29

電話：054-270-7658



『こころばの家@島田』

島田市東町1370-4

電話：0547-54-4556

